



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 ウシオ電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6925 URL <http://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 菅田 史朗

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 瀧澤 秀明

TEL 03-3242-1811

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	113,893	7.7	8,479	56.7	12,191	93.2	9,215	199.2
25年3月期第3四半期	105,787	△4.4	5,411	△40.0	6,312	△38.5	3,080	△56.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 25,589百万円 (332.0%) 25年3月期第3四半期 5,923百万円 (619.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	70.28	—
25年3月期第3四半期	23.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	258,027		199,504			76.0
25年3月期	228,657		176,784			75.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 196,069百万円 25年3月期 173,629百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	22.00	22.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	11.5	12,500	64.9	14,500	37.6	10,000	39.8	76.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	139,628,721 株	25年3月期	139,628,721 株
26年3月期3Q	8,505,391 株	25年3月期	8,501,642 株
26年3月期3Q	131,125,260 株	25年3月期3Q	131,128,433 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気拡大は緩やかながらも安定しつつあり、欧州経済は回復の兆しが見られました。また、米国経済も金融政策や財政問題を抱えながらも回復傾向が続きました。国内経済は、政府が打ち出す政策などを背景に、個人消費や生産などが持ち直し、緩やかな回復が見られました。

このような経済環境のもと、当社グループといたしましては、引き続き、将来に向けた新技術・新製品の研究開発に積極的な投資を行なう一方、生産性の向上や製造コストの低減、経費の圧縮、海外展開強化に向けた生産・販売体制の整備・拡充、適地生産の促進等、全グループを挙げて業績の向上に注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高で前年同期比7.7%増の1,138億9千3百万円、営業利益で前年同期比56.7%増の84億7千9百万円、経常利益で前年同期比93.2%増の121億9千1百万円、四半期純利益で前年同期比199.2%増の92億1千5百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (光源事業)

光源事業におきましては、デジタルシネマプロジェクタの普及に伴い、シネマプロジェクタ用クセノンランプの販売が引き続き拡大し、好調に推移いたしました。また、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大は持続しており、液晶・半導体関連メーカーの設備稼働率も高水準を維持していることから、露光用UVランプのリプレイス需要は堅調に推移いたしました。ハロゲンランプにつきましても、OA関連を中心に堅調に推移いたしました。なお、引き続き各種ランプの長寿命化、高輝度・高効率化等、製品開発を推進し、特に、固体光源(LED・LD)製品の研究開発を積極的に進めております。

その結果、売上高は前年同期比17.8%増の470億7千2百万円、セグメント利益は前年同期比31.3%増の55億8千4百万円を計上いたしました。

#### (装置事業)

装置事業におきましては、映像装置分野は堅調に推移いたしました。デジタルシネマプロジェクタは、先進国での普及率が高まり、販売の中心が新興国へ移行しつつあります。新興国をターゲットとした小型機を市場に投入し、新興国での販売が拡大したことにより、販売台数は前年同期並みで推移し、売上高はほぼ横ばいとなりました。一方、一般映像分野については、着実に受注を獲得し、順調に推移いたしました。光学装置分野は、好調なスマートフォンやタブレット端末関連メーカーを中心に、半導体や液晶市場における設備投資は回復傾向にあります。その中で、光配向装置など一部の液晶関連装置販売が拡大したものの、パソコンの需要低迷や、一部で売上の計上が期末に集中することから液晶・半導体、LED関連、その他電子部品関連の各種装置販売は低調に終わりました。また、EUV事業を日本へ集約し事業継続することから、EUV事業への開発投資は減少する一方、今後の業績向上につながる新技術・新製品の研究開発投資を引き続き積極的に進めました。

その結果、売上高は前年同期比2.8%増の654億2千6百万円、セグメント利益は前年同期比219.5%増の27億3千万円を計上いたしました。

#### (その他事業)

その他事業におきましては、好調なスマートフォンやタブレット端末関連メーカー向けに金型監視装置の販売が拡大いたしましたが、前年同期に販売が拡大した成形機や包装機械の販売実績を上回るまでには至らず、低調に推移いたしました。

その結果、売上高は前年同期比21.9%減の19億1千1百万円、セグメント利益は前年同期比28.1%減の6千2百万円を計上いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,580億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ293億6千9百万円増加いたしました。主な増加要因は、売掛金等の回収による「現金及び預金」の増加、商量増加による「仕掛品」の増加、保有投資有価証券の含み益の増加による「投資有価証券」の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、585億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億4千9百万円増加いたしました。主な増加要因は、保有投資有価証券の含み益の税金部分の増加による「繰延税金負債」の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,995億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ227億1千9百万円増加いたしました。主な増加要因は、保有投資有価証券の含み益の増加による「その他有価証券評価差額金」の増加及び円安による「為替換算調整勘定」の増加であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却の方法について、主として定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）は定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より主として定額法に変更いたしました。

当社グループは、毎期中期ビジョンの見直しを行なっておりますが、当社グループの属する液晶・半導体関連市場及びデジタルシネマプロジェクタ市場等の事業環境に対応するため、新たな経営戦略のもと、平成25年3月に中期ビジョン（平成26年3月期～平成28年3月期）を策定いたしました。

当中期ビジョンの一環として、当社グループでは生産体制の再構築及び海外への生産移管を進めることにより、日本国内における生産量が平準化・安定化することを計画しており、その結果、有形固定資産が長期安定的に稼働することが見込まれることから、減価償却方法を定額法に変更することといたしました。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5億6千4百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,136	49,557
受取手形及び売掛金	34,565	34,160
有価証券	14,140	15,924
商品及び製品	21,757	23,467
仕掛品	5,817	8,255
原材料及び貯蔵品	10,405	11,259
繰延税金資産	5,042	5,579
その他	7,497	7,555
貸倒引当金	△717	△653
流動資産合計	140,646	155,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,546	39,291
減価償却累計額	△19,743	△21,181
建物及び構築物（純額）	17,802	18,110
機械装置及び運搬具	22,521	23,578
減価償却累計額	△18,775	△19,743
機械装置及び運搬具（純額）	3,745	3,834
土地	9,057	9,290
建設仮勘定	1,220	1,789
その他	20,492	23,539
減価償却累計額	△15,542	△17,276
その他（純額）	4,949	6,263
有形固定資産合計	36,776	39,287
無形固定資産		
投資その他の資産	2,863	3,253
投資有価証券	45,384	57,002
長期貸付金	26	15
繰延税金資産	636	1,015
その他	2,453	2,447
貸倒引当金	△129	△100
投資その他の資産合計	48,371	60,380
固定資産合計	88,011	102,921
資産合計	228,657	258,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,610	17,290
短期借入金	1,904	1,729
1年内返済予定の長期借入金	4,732	3,192
未払法人税等	1,927	2,353
繰延税金負債	146	73
賞与引当金	2,581	1,508
製品保証引当金	1,549	1,659
受注損失引当金	17	6
その他	8,481	12,063
流動負債合計	37,950	39,877
固定負債		
長期借入金	2,791	3,642
繰延税金負債	1,089	5,764
退職給付引当金	2,441	2,840
役員退職慰労引当金	253	504
資産除去債務	211	214
その他	7,136	5,678
固定負債合計	13,922	18,645
負債合計	51,873	58,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	28,371	28,371
利益剰余金	126,912	133,243
自己株式	△12,231	△12,235
株主資本合計	162,609	168,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,666	23,089
繰延ヘッジ損益	△23	△2
為替換算調整勘定	△3,623	4,048
その他の包括利益累計額合計	11,019	27,134
少数株主持分	3,155	3,434
純資産合計	176,784	199,504
負債純資産合計	228,657	258,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	105,787	113,893
売上原価	70,631	73,312
売上総利益	35,155	40,580
販売費及び一般管理費	29,743	32,101
営業利益	5,411	8,479
営業外収益		
受取利息	269	431
受取配当金	814	896
為替差益	—	1,490
売買目的有価証券運用益	92	358
持分法による投資利益	2	—
投資有価証券売却益	6	166
その他	335	643
営業外収益合計	1,521	3,986
営業外費用		
支払利息	133	168
為替差損	68	—
持分法による投資損失	—	24
その他	418	80
営業外費用合計	620	274
経常利益	6,312	12,191
特別利益		
固定資産売却益	5	5
投資有価証券売却益	15	1,921
特別利益合計	20	1,926
特別損失		
固定資産除却損	65	64
固定資産売却損	14	0
減損損失	30	63
投資有価証券評価損	435	952
事業整理損	—	171
関係会社株式売却損	—	4
段階取得に係る差損	—	5
会員権評価損	—	2
会員権売却損	—	3
退職特別加算金等	—	39
その他	0	2
特別損失合計	546	1,308
税金等調整前四半期純利益	5,786	12,809
法人税、住民税及び事業税	2,486	4,280
法人税等調整額	306	△678
法人税等合計	2,793	3,601
少数株主損益調整前四半期純利益	2,992	9,207
少数株主損失(△)	△87	△7
四半期純利益	3,080	9,215



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,992	9,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△382	8,422
繰延ヘッジ損益	—	20
為替換算調整勘定	3,312	7,930
持分法適用会社に対する持分相当額	—	8
その他の包括利益合計	2,930	16,381
四半期包括利益	5,923	25,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,883	25,329
少数株主に係る四半期包括利益	39	259

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,761	63,586	103,347	2,439	105,787	—	105,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	202	48	251	8	260	△260	—
計	39,964	63,635	103,599	2,448	106,048	△260	105,787
セグメント利益	4,254	854	5,108	86	5,195	216	5,411

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	46,603	65,390	111,993	1,899	113,893	—	113,893
セグメント間の内部売上高 又は振替高	469	35	505	12	517	△517	—
計	47,072	65,426	112,498	1,911	114,410	△517	113,893
セグメント利益	5,584	2,730	8,314	62	8,376	102	8,479

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却の方法について、主として定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）は定額法）を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より主として定額法に変更いたしました。

これにより、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「光源事業」で404百万円、「装置事業」で142百万円、「その他」で17百万円増加しております。